

農業の『今』と『昔』

結城市の農業

●農業の移り変わり

結城市の農業は、戦後数十年までは桑園などの養蚕業が盛んでしたが、深刻な養蚕不振により衰退しました。その後、養蚕から果樹への切替え、かんぴょうや白菜の栽培が増加しましたが、米価の高騰があり、米作の増加がとくに顕著でした。また、昭和45年以降は農具の機械化や米作転換の強化などにより、畑作やトマトなどの施設栽培が増え市場生産の色彩が強くなり、作物構成が大きく変化しました。

現在、市内では白菜・レタス・トウモロコシなどの露地野菜の生産が多く行われ、園芸作物の県内有数の産地となっています。

●農業者の移り変わり

昭和25年、結城市域では農家戸数が総世帯数の半数以上あり、農家人口も総人口の約60%を占めていました。また、昭和35年以降工業の推進や、農具の機械化などによる余剰労働力の増加により、兼業農家が年々増加していきました。現在、農業就業人口は20000人を切っており、一人当たりの経営規模が増加しています。

今後は高齢化による離農や後継者不足が懸念されるなか、新規就農者を増やし、次世代を担う若手農業者の育成を図ることで、結城市の農業を発展させていく必要があります。

若手農業者に聞いてみました
若手農業者の団体である「結城市農村青少年クラブ（結城4Hクラブ）」に昔と今の農業について、話を聞きました。

●農業の印象

（菅井）一般的に農業はきつい・きたない・かつこ悪いといった「3K」のイメージがあると思いますが、今はさまざまな作業で機械化が進んで、稼働効率化・簡略化の「新3K」が定着してきています。また、昔は桑と米を主に作っていましたが、今は作物や販路についても、自分のやりたいことができるようになってきていると思います。分からないことはネットで簡単に調べられるのもありがたいですね。

●結城市の農業について

（江連）結城市は、首都圏に近く物流が活発であり、農地も平坦なのでかなり恵まれている環境で農業ができています。

（小川）昔の農家の方々は、多くの研究会などを立ち上げて、お互いに切磋琢磨していたと聞いています。50年以上も続いている私たち結城市農村青少年クラブもそのなかの一つであって、今後また皆さんの仲間が欲しいですね。ぜひ皆さんに農業に興味を持ってもらいたいです。

結城市農村青少年クラブ（結城4Hクラブ）

- 結城市内の20代を中心とした農業後継者クラブ
- 現在15人の男女混合メンバーで構成
- 昭和26年に結成後、時代を引継ぎ活動中
- 結城市農業祭の運営（市からの委託）
- 白菜の生産、消費者との交流を目的としたトウモロコシの注文販売、市内のイベントへの積極的な参加

会員募集中!!



左から、小川副会長、江連会計、菅井会長



表紙の写真：鬼怒商業高校がトウモロコシアイスを開発！

本市にある県立鬼怒商業高等学校が、地域活性化の取り組みとして、結城の代表的な農産物「トウモロコシ」を使ったアイスを開発しました。

結城市は県内でも有数のトウモロコシ産地で、鮮度抜群の「朝獲りトウモロコシ」を加工したパウダーを使い、素材の甘味を生かした爽やかなアイスに仕上げました。

10月5日のいきいき茨城ゆめ国体バレーボール競技（少年女子）では、来場者へのおもてなし品として生徒自ら提供しました。

今後は、市内菓子店などでの販売を予定しています。



農業祭が50回目を迎えます

実りの秋、結城市の基幹産業である農業において、白菜・レタス・キャベツなどの生産が最盛期を迎えるこの時期に、農産物の豊作を祝い「結城市農村青少年クラブ」が主催となり、農業祭を開催します。

●結城市農業祭の歴史

第1回農業祭は昭和29年に開催され、高品質な農産物の生産・栽培技術の向上を目指した農畜産物の品評会が行われました。また、即売会や農機具展示などによる消費者との直接的な交流を図り、結城市の農業振興に寄与しました。昭和34年には、農業祭と各種秋祭りを統合した産業祭が行われ、結城の街を盛り上げました。



当時の農業祭



現在の農業祭

第50回記念！ ここがポイント!!

★共進会
第1回から続けている農産物の品評会です。毎年100点近い農産物が出品されており、市内の農家が真心こめて育てた「新鮮」で「おいしい」農産物を味わうことができます。

★ワークショップイベント ※無料
前回好評だったバルーンアート体験のほか、子どもたちに農業を楽しんでもらうため、はしづくり体験、バターづくり体験を行います。

★結城の野菜を体感 ※無料
皆さんは、野菜が何グラムあるか知っていますか。野菜重さ当てゲームで野菜を実際に持って、重さを当ててみましょう。当たったらいいことがあるかも!

★ミルクフェア
間近で子牛と一緒に写真を撮ることが出来ます。また、乳製品もたくさん用意しています。

★ビンゴ大会 ※無料
イベントの最後に、無料ビンゴ大会を行います。1万円分の「JAきらいち商品券」や、5千円分の「お肉」が当たります。そのほか、さまざまな賞品がありますので、ぜひご参加ください。

最後に...

（菅井）歴代の先輩方の思いを引継ぎ、盛大に50回目を開催できること、たいへん嬉しく思います。また、関係者の皆さんや品評会に出品していただけた皆さん、いつも応援していただけた先輩方には、心から感謝申し上げます。

今年第50回記念として、恒例の品評会や即売会のほか、農機具展示を復活し、トラクターの展示・試乗を行う予定です。また、皆さんに農業の楽しさを知ってもらい、農業へのご理解と将来の仲間が増えることを願ってさまざまなイベントを行いたいと思っています。ぜひ、ご家族で足をお運びください!



当時の即売会



現在の即売会

詳しくはチラシをご覧ください。

問 市農政課 | ☎34-0419